



国民健康保険料が変わります

☎ 保険年金室 ☎ (24) 8955

01

賦課限度額を改正

後期高齢者支援金等分が20万円から22万円に。
年間保険料の上限額は104万円になります。

医療給付費分	+	後期高齢者支援金等分	+	介護納付金分	=	年間保険料額
65万円		20万円→22万円		17万円		102万円→104万円

02

軽減基準額を拡大

前年の所得が一定の基準以下の世帯は、保険料(均等割額と平等割額)の軽減が受けられます。保険料の軽減を受けるためには所得がない人・少ない人でも毎年申告が必要です。未申告世帯は軽減されません。

▼軽減割合	令和4年度	→	令和5年度
7割	43万円+10万円×(給与所得者等の数-1)以下		変更なし
5割	43万円+10万円×(給与所得者等の数-1) +(28.5万円×被保険者などの数)以下		43万円+10万円×(給与所得者等の数-1) +(29万円×被保険者などの数)以下
2割	43万円+10万円×(給与所得者等の数-1) +(52万円×被保険者などの数)以下		43万円+10万円×(給与所得者等の数-1) +(53.5万円×被保険者などの数)以下

NEW

用語解説

- ▶均等割額…被保険者1人当たりにかかる金額
- ▶平等割額…1世帯当たりにかかる金額
- ▶被保険者などの数…被保険者と国民健康保険から後期高齢者医療制度へ移行した人の合計人数

市長コラム94

【木国会とタンDEM自転車】

銚子市長 越川 信一

江戸時代、紀州から多くの人々が移住し、漁業・醤油醸造業・利根水運などが拓かれた銚子。その遺徳をたたえる銚子木国会の慰霊祭が5月7日、妙福寺本堂で4年ぶりに開かれた。この8日前、4月29日には、太平洋岸自転車道のスタート地点でチーバくん像がある銚子駅前からタンDEM自転車3台が終点の和歌山市に向けて出発。1100キロの長距離を雨にも負けず走り切り、5月7日、無事に和歌山市に到着した。タンDEM自転車は、2人で乗って一緒にペダルをこいで走る自転車。今回は前席に健常者、後席には視覚障害の方などが乗車して走った。



「稲むらの火」のモデルとして知られる濱口梧陵(ヤマサ醤油七代目当主)は、1858年(安政5年)、39歳の時、医師の「関寛齋」とともに「コレラ防疫」にあたり、銚子をコレラの危機から救った。3年余りにわたって続いていたコロナ禍で、梧陵と寛齋の苦勞と活躍に思いを馳せる。改めて銚子と紀州・和歌山の結びつきを感じる大型連休だった。

幾多の困難の中で銚子のマチの発展を築いた紀州人のフロンティアスピリットを思い起こしながら、「銚子のこれから」を切り拓いていきたい。